

A:達成している、B:順調達成している、C:あまり達成できていない、D:全く達成できていない

重点目標	学部	具体的な取組	評価指標	目標値	評価項目	年度末アンケート結果	今年度の取組状況 (0で達成できていない)	今年度の取組状況 (1で達成している)	学校運営協議会委員評価 (コメント・意見等)	
(1) 子どもが主体的・対話的に活動し学びを深める授業づくり	幼稚園	・幼児が身近な大人や友達と安心して過ごす中で、自分の気持ちを表現しながら遊ぶことができるように、環境設定の工夫(共感、気持ちの受け止め、わかるための手だて等)をすすめる。	【教員(40):アンケート結果】 「達成」「順調達成」の割合	70%	○幼児が安心して自分の気持ちを表現しながら遊ぶことができるように、環境設定の工夫(共感、気持ちの受け止め、わかるための手だて等)に取り組んだと実感できた教員の割合。	A 4A B 2A C 0A D 0A 100%	○幼児と教員の関係づくり(共感関係、気持ちの受け止め等) ○幼児の気持ちを意識してわかろうとする姿勢 ○幼児の気持ちの確認(発信モデル、発信の復唱、幼児への質問等) △教員間での共通理解(幼児の園々の課題、支援方法等)	○1より丁寧なかわりをおして、幼児が自分の気持ちを豊かに表現したり、相手の気持ちを受け入れたりしながら遊ぶことができるようになる。 ○幼稚園全体で指導力向上のために、幼児に一人一人の課題や指導方法、体制について話しあい、改善していく。 ○園々のつづいた力を見極めて積みあがるように学部内や幼小合同で研修や情報交換をする。	○記載のように、幼稚園内や幼小合同での研修や情報交換は非常に大事だと感じる。保護者対応は難しいのではないかと。地域によって、社会資源も異なり、保護者の生活背景もまちまちである。この点を鑑み、個別化し、寄り添って行くことが多くなると思う。地域の情報も入れながらの教育になるように思われる。幼児の安心安全なコミュニケーションが出来る場の設定が大事だと考える。 ○今は、異種障がいの方が多いときている。みんなのコミュニケーション力がつくような環境づくりが大切だと思います。(人が少ない中難しい問題だと思います。) ○園々の課題はありますが、気持ちのやりとりができていますと感じました。 ○とても大事なことを丁寧に取り組んでいらっしゃる様子が伝わりました。	
	小学部	・各学習活動において、協働的な学びを効果的に取り入れ、学びの充実を図る。	【教員(40):アンケート結果】 「達成」「順調達成」の割合	70%	①学習グループの工夫や、交流学習、地域活用型学習による体験的、協働的な学びの実践ができたか。 ②授業づくりにおいて効果的な支援の検討をおして、授業のねらい達成に近づけることができたか。	A 2A B 7A C 1A D 0A 90%	○国語、算数の協働的な学びがあまりできていない学校だと感じます。学習グループや指導方法の工夫をもっとしなくてはと思います。 ○体育、音楽、図工は集団活動を基本としているが、国語や算数、生活単元学習や自立活動においても児童の実態に応じて集団での授業実践に取り組んだ。交流学習や地域での学習にも積極的に取り組んでおり、様々な人との学習を行った。 ○協働的な学びについて実践を行い、各教員ごとに実践をまとめ成果や反省をまとめた。 △協働的な学びを効果的に進めるためには、題材の設定、教員の発問の仕方、情報保障の面でさらなる工夫が必要であり、続けていく大切さを確認した。	○1.2.5年が学年になるが、協働的な学びが保障できるようにする。 ○協働的な学びで効果的だった支援等は継続しつつ、個別学習とのつながりや意図力の広がりや意図、児童の表現力向上を目指す。	○欠学年があることや、各学年の規模を考慮しても、協働的な学習が困難だと思われるが、劇の発表などをみせていただくと、かなり、協働的な成果が発揮されていたと感じました。 ○社会に出てからの協働的な動きを小学時代から、身に付けていくことは大事だと思う。 ○中学での学習につながる授業の取り組みをお願いします。 ○とても大切にしたいと私も思います。特に1人のクラスがあれば、同級生または年の近い人との関わりが増えると将来のためにもいいと思う。 ○交流学習や地域での学習が積極的で、その様子もHPなどからよく理解できます。地域も学ばせてもらうことが多くあると思います。 ○記載のように、園々の状況に応じた情報保障が大事であると思われる。 ○さまざまな工夫が必要なおことで先生方の負担も大きいと思いますが、生徒のみならずにとっては大事な学びであると感じます。	
	部活部	・生徒が自らの目標を決め、考えたり、調べたり、仲間と協力したりする活動(協働的な学び)を目指した授業づくり	【教員(40):アンケート結果】 「達成」「順調達成」の割合	70%	①生徒たちが自分の目標を決めて、活動に取り組むことができたか。 ②仲間と対話しながらかつ活動する姿がみられましたか。	A 1A B 8A C 1A D 0A 100%	○合同学習、合同自立、協働で、生徒が自分の目標を決める際に、イラスト入りの目標をいくつが提示したことで、それぞれの生徒が決めることができた。 ○振り返りも、googleフォームを使ったことで、選択肢から選ぶことができた。 △文章で感想を書くことにはまだ、抵抗がある生徒がいた。	○自分の目標を決めて活動に取り組むことで、生徒が活動内容がきちんとわかるので、継続したい。 ○振り返りを全体で共有を授業の時間内できちんとできるようにする。	○中高生アンケートの、『授業内容が分かりやすいか?』の結果にあるように、全員が『そう思う』『ややそう思う』と考えていますが、素晴らしいことだと思います。 ○園々の目標に対する取り組みについて、振り返りをフォームを利用して全体で共有するのは、とても意義の大きいことだと感じました。 ○生徒が情報を入手し、処理して、自分と照らしながら、目標設定を行うのは難しい面が多いと思われる。しかし、積み重ねが大事だと感じる。振り返りも、単語から文につなげていけるように思われる。 ○協働的な学習の発表準備をする時、パワーポイント、その他ソフト、Googleフォームなどを使う力が身に付けられると将来役に立つと思います。(技術だけでなく、発表の仕方(伝え方)まともな力などもつくと) ○自分でしっかりと目標を決められるように先生方が工夫された様子がありました。	
	部活部	・生徒が自らの目標を決め、考えたり、調べたり、仲間と協力したりする活動(協働的な学び)を目指した授業づくり	【教員(40):アンケート結果】 「達成」「順調達成」の割合	70%	①生徒たちが自分の目標を決めて、活動に取り組むことができたか。 ②仲間と対話しながらかつ活動する姿がみられましたか。	A 2A B 0A C 0A D 0A 100%	○仲間と対話しながらかつ活動する姿がみられましたか。 ○合同学習、合同自立、協働で、生徒が自分の目標を決める際に、イラスト入りの目標をいくつが提示したことで、それぞれの生徒が決めることができた。 ○振り返りも、googleフォームを使ったことで、選択肢から選ぶことができた。 △文章で感想を書くことにはまだ、抵抗がある生徒がいた。	○自分の目標を決めて活動に取り組むことで、生徒が活動内容がきちんとわかるので、継続したい。 ○振り返りを全体で共有を授業の時間内できちんとできるようにする。	○集団での活動を通して、中学時代から、自己覚知を促し、受援力を高めるような指導をしていただくと良いのではと思う。 ○それぞれの言語力、理解力に合わせた工夫ができています。本人たちが活用できるより良いかと思っています。 ○大事な「対話」の時間、意見を言える生徒さんが増えてこられたことは素晴らしいですね。	
	異学部	・地域・企業(ひと・もの・こと)から直接学ぶ体験を通して、学びの充実を図る。	【教員(40):アンケート結果】 「達成」「順調達成」の割合	70%	○地域・企業から直接学ぶ体験を通して、学びの充実を図ることができたか。 ○総合的な学習の時間を中心に地域の方と一緒に学習することができたか。	A 5A B 0A C 0A D 0A 100%	○地域・企業から直接学ぶ体験を通して、学びの充実を図ることができたか。 ○総合的な学習の時間を中心に地域の方と一緒に学習することができたか。	○学習を深めることにおいて地域・企業から直接学ぶ体験は非常に効果的だった。古江公民館での学習成果発表会でも、その成果を発表することができた。 △次年度は、生徒の学年構成が大きく変わるので、実態に合った学習設定を検討する必要がある。 △ICTスキル向上事業では、活動目的や内容、日程など校内外の調整に時間を要した。	○引き続き、主体的・対話的に活動し学びを深める授業づくりを進められるよう、生徒の実態に合った学習課題を設定し、活動に取り組むたい。 ○地域・企業から直接学ぶ機会が、一層効果的になるよう計画や打合せ、校内外の調整を計画的にすすめていきたい。	○発表会でも、地域や企業の方々の学びの成果をみせていただき、おどろきました。それが発展して、地域や社会に出ていくきっかけとなればとも感じました。 ○古江公民館を使っての学習成果の発表は良かったと参加した方から聞いた。公民館が会場だと誰かが行きやすいと思われる。しかしながら、地域との交流が現時点、あまり得意でない生徒もいるように、その辺の配慮もしつつ、社会とのつながりや丁寧な構築をしていただきたい。学校運営協議会の委員を活用されても良いと思う。 ○とてもよい活動だと思います。障害者雇用という課題に色々な可能性を感じさせてくれる活動だと思います。 ○外部との調整は時間がかかり大変だと思いますが、生徒さんにとっては大事なお時間ですね。削減できる事務時間を減らしたり、それも含めて外部の方にやってもらうなど、先生方の負担が減ることを願います。 ○私達も一企業として、ご協力できることが色々あるように思います。また、こちらからも交流のお願いをさせて頂くこともあるかと思っています。引き続きよろしくお願いたします。
	部活部	・舎生と共に生活目標を設定し、目標達成に向けての手立てや取組の様子について、定期的に振り返りを行う。 ・振り返りの内容や必要な支援について、指導員間で共有する。	【教員(40):アンケート結果】 「達成」「順調達成」の割合	70%	○舎生との対話を重ね、振り返りの内容を指導員間で共有し、支援方法を工夫することにより、舎生が目標を達成できたか。 ○振り返りの内容や必要な支援について、指導員間で共有する。	A 2A B 10A C 0A D 0A 100%	○舎生との対話を重ね、振り返りの内容を指導員間で共有し、支援方法を工夫することにより、舎生が目標を達成できたか。 ○振り返りの内容や必要な支援について、指導員間で共有する。	○目標設定や毎月の振り返りでは、舎生の思いを聞きながら、対話を大事に取り組んだ。 ○グランドデザインを基に将来をイメージし、それぞれの舎生に合った目標設定ができた。 ○毎月の振り返りでは、日々の頑張りを舎生と指導員で共有することができた。また、振り返りを積み重ねることにより、舎生自身が目標を達成し、目標達成に向けて行動する姿が見られた。	○自立に向けて、個に応じた目標設定を行い、目標達成に向けて一貫性のある支援を行っていく。 ○舎生の思いに気づき、助け合いながら生活する集団づくり。	○生活を意識し、相互作用に基いた指導をお願いしたい。継続して、近隣の高校生や大学生との交流を通して、社会性の形成、そして、同年代の生活スタイル、思いを感じてもらえたらと思う。 ○個人的な感想ですが、子どもたちが本当にかわりました。(親御さんも喜んでます。大変ですがよろしくお願いたします) ○丁寧に舎生のみならずと向き合っている様子が分かりました。
	部活部	・各種計画書作成が円滑に作成されるための支援を行う。 ・指導検討会の充実を図り、授業改善にいかす。	【教員(40):アンケート結果】 「達成」「順調達成」の割合	70%	①各種計画書作成に関する手順やポイントの提示により円滑に計画書が作成できたか。 ②指導検討会等で幼児児童生徒についての実態や指導内容・方法等について情報を共有することで各自の授業の改善につながったか。	A 8A B 31A C 0A D 0A 100%	○各種計画書作成に関する手順やポイントの提示により円滑に各種計画書が作成できた。 ○指導検討会等で幼児児童生徒についての実態や指導内容・方法等について情報を共有することで各自の授業の改善につながったと実感できた教員の割合。	○年度の始めに「諸計画作成の流れ」を、諸計画作成の前には「個別の指導計画作成にあたって」「年間指導計画作成にあたって」等の手順書を配布した。 △<知的版>においては、年間指導計画の採点者が個別の指導計画に反映する等のしくみや、合わせた指導に際しての目標の考え方や、より丁寧な説明が必要な部分がある。 △「自立活動実態シート」の取扱いについてあいまいな部分がある。	○作成にあたっての説明会等の実施 ○「自立活動実態シート」について、作成の時期、内容のチェック等について、随時障がい教育専任教員や関係分掌と整理を行い、各種計画書作成や授業に役立てることができるようにする。	○指導検討会だけではなく、必要に応じて学部会等を通して情報共有する場を設定していく。

重点目標	学部	具体的な取組	評価指標	目標値	評価項目	中間アンケート結果		今年度の取組状況 (O:達成したこと △:課題)	今後の取組 (O:達成すること △:課題)	学校運営協議会委員評価 (コメント・意見等)	
						A B C D	7A 30A 0A 0A				
(1) 子どもが主体的・対話的に活動し学びを深める授業づくり	生徒部	・教職員や幼児児童生徒に専門家を活用しながら性に関する指導、安全教育、人権教育を実施する。	【大規模評価】 ・『キラリ!タイム』の実施各学期2回	実績結果				○不審者対応訓練、行方不明捜索訓練の訓練を行い、マニュアルを見直すことができた。 ○キラリ!タイムを各学期2回行った。警察や助産師から交通安全やインターネットの危険、薬物乱用防止を指導していただいた。 △児童生徒と人権ポスターを作成し行事等で掲示した。来年度は、日ごろ意識できるように取組ができるように。	①用直会・生徒会の充実(活動内容、計画、実施の応じた、幼～高までの交流のあり方) ①人権教育(掲示、配布、授業等) ②学校生活アンケートの検討(実施内容、情報共有、指導等)	○人権教育は非常に大事だと思われる。 ○継続的な取り組みが重要なことと思いますが、年々伝えるべき内容も変化していると思います。自分に関係ない話、ではなく自分事として考えられる機会になると良いかと思ます。	
	研究部	・学部研究で授業を見合ったり、経験者研修や各公開授業を中心とした授業研究を行ったりすることを通して、協働的な学びを推進し、主体的・対話的に活動し学びを深める授業づくりを進める。	【教員(幼小中高)]:アンケート回答「達成」「要改善」の割合 ・学部研究や経験者研修、各公開授業を中心とした授業研究は、協働的な学びを推進し、主体的・対話的に活動し学びを深める授業づくりに役立ちましたか。	70%	○学部研究や各公開授業等を中心とした授業研究は、協働的な学びを推進し、主体的・対話的に活動し学びを深める授業づくりに役立ちましたか。	A B C D	7A 30A 0A 0A	100%	○各学部の公開授業について、校内に案内し可能な範囲で授業を見合うことができた。 ○学部研究会については、子ども達の協働的な学びの中で主体的、対話的な姿の促しを明確にし、授業づくりを進められるようにした。 △公開授業を見たりいろいろな研修を行ったりして、学びを研究につなげていく努力をさらにしたい。	①県研に向けて、1学期に授業を行い改善を重ね、指定授業につなげる。 ②公開授業や様々な研修での学びを研究につなげられるような取組を考える。	
(2) 地域とともにある学校づくり	総務部	・PTA事業部を3つに分け、「家族の集い」、文集「声」、松ろう文化祭ブース)、保護者や教職員が参加しやすく、学部をこえて親睦を深められるような活動内容や日程を工夫する。	【教員(幼小中高)]:アンケート回答「達成」「要改善」の割合 ・PTA事業部を3つに分け、教職員と保護者が協働して計画実施することにより、互いの親睦を深める場となったか。	60%	OPTA事業部を3つに分け、教職員と保護者が協働して計画実施することにより、互いの親睦を深められるPTA活動となりましたか。	A B C D	8A 30A 0A 0A	100%	OPTA総会の日に3事業部の時間を設け、顔合わせや活動計画を立てることができた。 ○各事業部がアンケート等を使って保護者の意見を反映させながら活動ができた。 ○文集「声」は2年間編集長を務めていただいたことで、文集等も保護者発信で行い、保護者主体の活動に近づいた。 △PTA活動(事業部、各種研修会、全体会、役員会)への保護者さんの積極的な参加をどう促していくか。回数や実施日、内容等の工夫検討が必要だった。	①保護者同士がつながり合え、参加しやすいPTA活動の計画実施。 ②PTA役員の名称変更等、会則の改正に伴い役員業務内容の整理や活動内容の工夫。	○主体性を持ちやすい環境づくりができるとよいですね。 ○事業部を3つに分けられ、よりよいPTA活動を目指し、動かれたことが分かりました。
	道徳指導部	・保護者、地域、企業等との連携・協働を目指して、積極的な情報発信に努める。	・インスタを使っての情報発信(月2回) ・進路だよりの発行(学期ごと) ・地域・企業に向けての情報発信(回覧板や研修会等の活用)	実績結果				○インスタグラムを更新できる人が増えたことで、更新回数が増えた。(R6年4月~R7.1月:48件) ○進路だよりを7月20日、12月25日に発行した。3月にも発行予定。 ○かきばら祭の案内などに回覧板を活用し、古江地区の方に発行していただいた。企業等による学校見学会やあいワークの事業を通して、本校について知ってもらった。	①②よりよいかきばら祭のあり方についての検討 ①②保護者への進路に関する情報提供	○インスタグラムもかなり頻りに発信されているのも、離れてすむ者としてはありがたいと感じました。 ○インスタグラムをフォローして拝見している。更新が頻繁で学校の様子が良くわかる。 ○私が中学生のときは、自立活動で当時の夢の1つであった看護師について調べた。私のような聞かない人でもなれるのか?できるのか?調べた結果、絶対的欠格事由・相対的欠格事由があり、前者は、絶対に免許は与えられない。後者は、その仕事が適切に?出来れば免許を与えることができる。だったと思うが、その辺りを生徒が知って欲しいと思う。それから20年以上経っているので、変わっているところもあるかもしれませんね。 ○発信の次はどのような効果があったかということを確認する必要があると思います。(進路指導につながる部分でどのような効果があったかなど) ○インスタグラム毎回楽しく拝見しています。今の時代に合った、有効な情報発信の方法だと思います。	
	情報図書部	・ホームページを活用して、本校の教育活動等について情報発信する。	・定期的(月2回程度)にホームページの更新。	実績結果				○定期的(月2回程度)にホームページを更新することができた。 更新数330(ブログ等173、給食157 期間4/1~1/27) △学校公開などの更新が遅れてしまうことがあった。	①今後も記事作成依頼を行い、定期的にホームページを更新していけるよう努める。情報の種類に応じて、保護者ページや限定公開などを活用し、情報発信を行う。②120周年に関する記事など、今後も学校行事や日々の学習の様子などをホームページに掲載していく。	○ホームページのとくに、松ろうブログは写真がたくさんあり、学校の様子がよくわかりました。 ○HPについて積極的に実施されたことはよく理解できました。「情報図書部」とありますが、図書についてはいかがでしょうか。	
	支援部	県東部の小・中学校に在籍する聴覚障がいのある子どもへの相談・支援を行う。	・センター的機能として教育相談にあたってきた件数の報告。 ・教育相談の様子や、聴覚障がいについての理解を深めるための理解学習や研修会のアンケート結果を報告。	実績結果				○センター的機能として、相談の要請に対して全て対応した。担任・教職員への支援に対して、五輪ネットや市教委、教育事務所等との連携をもちながら対応することができた。 △通級では対応できない私立の高校の相談が増えている。その支援について検討していく必要がある。	①新設される難聴学級への支援(小学校4校、中学校校) ②校内支援について、ケース会議等の開催や関係機関コーディネーター等、運営に向けた組織作り。	○今後、地域の学校で学ぶ聴覚障がい児のフォローはより大事になってきている。重複の児童、生徒も地域で見かけることもある。 ○新設される学校への支援など、多くのノウハウを持つ、ろう学校にしかできない支援で重要なことを丁寧に取り組んでいってほしいと思います。	
	事務部	・施設設備の維持、修繕や環境整備に努めるとともに、修繕箇所については優先順位をつけ効率的な予算執行をする。	・安全点検や定期点検等で報告のあった不具合の箇所について、速やかに対応ができたか。	実績結果				○不具合の報告のあったもののうち、軽微な修繕や既定予算で対応できるものは実施した。年度後半で予算が付いたものは年度末までに順次実施する。(教室棟窓ガラス、寄宿舎・厨房の整備等) △施設設備の老朽化	①安全点検や定期点検等で不具合の報告のあった箇所について早急に対応方針を決め、優先順位を付けて効率的に実施する。 ②予算の確保	○安全あっての学校ですが、予算に限られて大変だと思います。点検なども日ごろから大変だと思いますが、みなさんの安全が守られますことを願っています。	

松江ろう学校 令和6年度 学校関係者評価票(学校運営協議会委員)

回答欄A・B・C・D・Eのうち、お考えに合うものを○で囲んでください。

A: そう思う B: おおむねそう思う C: あまりそう思わない D: そうは思わない E: わからない

	評価の観点	回答					計	コメント・意見等
		A	B	C	D	E		
1	本校の教育目標は、生徒の実態と保護者や地域の願いを踏まえたものになっていると思われませんか。	6	4				10	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の願いまですべての把握は難しいと思われる。 ・先生方と保護者さんが信頼関係を築き、とり組んでらっしゃると感じました。
2	本校の学習指導は、幼児児童生徒の実態に合わせて、適切に行われていると思われませんか。	7	3				10	<ul style="list-style-type: none"> ・ろう学校卒業後の長い人生を見据えての指導も必要だと感じる。 ・学校見学をさせて頂いた際に、1人1人に合わせてきめ細かくカリキュラムが組まれている様子を見せて頂きました。 ・特にICTを活用の成果が出ておられることが、生徒さんアンケートからよく理解できました。
3	本校の生徒指導は、社会のルールやマナーを踏まえて、適切に行われていると思われませんか。	6	3			1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・聞こえない、聞こえにくいことから、社会性の成熟はなかなか難しい。聞こえないことへの理解は聞こえる者には難しい。 ・校内、校外でお会いする機会がありましたが、いつも礼儀正しくあいさつをしてくれました。
4	本校の進路指導は、本人や保護者の願いを踏まえて、適切に行われていると思われませんか。	4	6				10	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障がい特有のものもあるので、その理解のもとでの進路指導は難しい面がある。 ・情報発信が取り組みの重点目標になっていますが、企業や地域への発信についてだけでなく、その他、生徒さん自身が将来どうありたいか自分と向き合う時間について取り組みも必要だと感じました。
5	本校の施設設備の安全管理や環境整備は、適切に行われていると思われませんか。	6	4				10	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんと環境整備はされていると思われる。 ・様々なICTを活用し、学びの環境を整えていらっしゃいました。 ・限られた予算の中で、優先順位をつけて効率的に取り組んでいらっしゃることが分かりました。
6	本校では、地域との関わりを大切にされた学校づくりが適切に行われていると思われませんか。	10	1				11	<ul style="list-style-type: none"> ・古江公民館や古江小学校、あさひ乃苑との関わりなどしっかりされている。中高との関わりが課題と思われる。 ・かきばら祭で地域×ろう学校さんの学習発表を拝見しました。 ・さまざまな工夫で地域との取り組みをされていると感じています。小学部さんに対して中高生徒さんが地域の学習や人との関わりを望んでおられない数値となり、どのような理由か気になりました。

7	本校の教育活動に関する情報は、家庭や地域に十分伝わっていると思われませんか。	4	6			10	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムの活用もされて努力をされているが、十分とまではいかないと思われる。 ・SNSやブログを通して学校の様子を知る事ができました。 ・保護者の方の評価が高く、先生方の努力が保護者の方に伝わっているのが分かりました。地域側の評価が気になります。
8	学校運営協議会の資料や学校側の対応は、満足できるものでしたか。	7	2		1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・学校側は丁寧な対応をなさっている。 ・前より分かりやすくなっていてよかったですと思います。 (ごちゃごちゃ感なくスッキリとしていいと思う) ・三成教頭をはじめ先生方にいつも丁寧にご連絡をくださり、感謝しております。 ・お便りやご案内など、大丈夫な方については経費削減のため電子化されても良いと思いました。

【総合評価】

	この度の学校による重点目標の設定及び自己評価は、適切であったと思われませんか。	5	5			10	<ul style="list-style-type: none"> ・適切であったと思われる。 ・生徒の成長につながるよう、多面的に設定されていました。 ・お忙しい中、特に今年度の取り組み状況が良い点と課題に分けて振り返り・来年度について検討されている様子がよく伝わりました。恐れ多く答えさせていただきましたが、ろう学校さんのこれからを応援しております。
--	---	---	---	--	--	----	---